



シルバーだより

道 標

第 25 号

令和 7 . 1 . 1

理事長あいさつ

2

大分市長年頭のごあいさつ
ボランティア清掃

3

各部長あいさつ

4

安全・適正就業委員会

委員長あいさつ

5

活動報告

設立40周年記念事業

6

趣味の広場

7

事務局通信

互助会会長あいさつ

8



謹んで新春のお慶びを申しあげます
本年もよろしく願っています



公益社団法人
大分市シルバー人材センター
理事長 江藤 郁



明けましておめでとうございます。皆様には、幸多き新春を迎えておられることと謹んでお

挙行いたしました。多くの方々
と共に祝いできましたことは
誠に喜ばしく、また、皆様のこれ
までのご理解・ご協力の賜物と
感謝しているところでございま
す。ありがとうございます。

さて、わが国では、人口減少、
少子高齢化が世界に類を見ない
スピードで進展しておりますが、
当センターとしては「経済情勢、
雇用環境の変

慶び申し上げます。

令和六年は設立四十周年の年
として、十一月十二日に多くの会
員並びに大分市長 足立信也様、
大分市議会副議長 高橋弘巳様、
大分県シルバー人材センター連
合会矢野事務局長はじめ、大分
県下各シルバー人材センター理
事長、事務局長の皆様ご出席の
もと、当センターの記念式典を

化」、「自然災害
による影響」な
どにも適切に対
応しながら、地
域の経済活力を
維持するため、
その一旦を担ってきたものと自
負しているところでございます。
そして、これからはこれまで以
上に経験豊かな高齢者が地域
社会を支えることが期待される
ものと思っておりますことから、
地域での就業を通じて、会員の
生きがいと地域のニーズを結ぶ
お手伝いをしているシルバー人
材センターの果たす役割は益々

重要な存在となってくると確信
しております。

当センターといたしましては、
今後とも、会員皆様の安心・安
全・健康を第一に、事務局職員
一人ひとりがいきいきと業務に
専心できる組織の構築に努める
中、次の節目である五十周年に
向けて、一步一步着実に前進し、
地域から頼られ、喜んでいただ
ける「まちのシルバー人材セン
ター」を目指してまいる所存で
ございます。

また、フリーランス新法の施
行に伴い、今後、会員と発注者
との直接契約となる契約方法の
見直しにつきまして、令和七年
中に対応を進めてまいりたいと
考えておりますが、会員の皆様
のご理解のもと進めてまいりま
すので、より一層のご支援・ご
協力を賜りますようお願い申し
上げます。

終わりになりますが、皆様に
とって本年が良い年となります
ことを祈念いたしまして新春の
ご挨拶いたします。

理事会あいさつ

あけまして
おめでとございます

理事長 江藤 郁

副理事長 正池 功

常務理事(事務局長) 釘宮 祐一

理事 齊藤 修造

深草 秀昭

都甲 堅治

河合伊津子

幸 義広

吉村正太郎

渡邊 邦治

衛藤 光

監事 薬師寺 寿

仲矢 吉徳



渋谷 建治
大野 憲一
宮園 清孝
渡辺 正道
小浦 良雄
高橋 豊文
白石 郁子



年頭のごあいさつ



大分市長
足立 信也

明けましておめでとうございます。公益社団法人大分市シルバー人材センターの会員の皆様をはじめ関係の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から高齢者の就業機会の創出・拡大に取り組んでいただいておりますことに、深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、我が国では高齢化が急速に進展する中、本市の高齢化率も年々上昇しており、令和六年十月末日現在二十八・七％となっております。

このような中、貴センターにおかれましては、高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に大変重要な役割を担っていただ

ております。また、地域のニーズにきめ細やかに対応した事業を展開され、今では地域に欠くことのできない存在となっております。会員の皆様には、今後とも「地域の支え手」として、より一層ご活躍されますことをご期待申し上げます。

本市といたしましても、貴センターの取組を積極的に支援するとともに、高齢者が健康でいつまでも活躍できる地域づくりを通して、肉体的、精神的、そして、社会的にも幸せを実感できる「ウェルビーイング」な大分市を実現してまいりますので、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、公益社団法人大分市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。

ボランティア清掃



ななせの火群まつり

連日の酷暑が続く中、七月二十八日(日)に、第三地区、第四地区、第七地区などの会員と職員が「まつり」を盛り上げるために開会式に参加し、市長の挨拶では当センターの紹介がありました。また、翌二十九日(月)には、早朝からボランティア清掃に参加し、汗を流しました。

参加された会員の皆様には、暑い中大変お疲れ様でした。



7月28日 開会式



7月29日
ボランティア清掃

「大分いこいの道」芝生広場

今年度は設立40周年事業の一環として十月二十六日(土)に「大分いこいの道」芝生広場のボランティア清掃を行いました。

当日は、朝から小雨がしとしとと降っていましたが、第一地区、第二地区などの会員と職員が参加し、落ち葉とごみを収集しました。



ご協力いただきました皆様へ心よりお礼申し上げます。

清掃等のボランティア活動を通じて地域に貢献することは当センターの大きな目的です。

今後とも多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。





植木・剪定部会長
深草 秀昭
(西の台B班)

大分市シルバー人材センターは、令和六年十一月八日に設立四十周年を迎えました。

記念の節目に、会員として在籍し、式典行事に参加の機会を得ましたことは、ご同慶の至りでございます。

今年、令和七年は、設立五十年の節目を会員として元気に迎える出発の年として捉えたいものであります。

我々の理念、J(自主)・J(自立)・K(共働)・K(共助)は、個人事業主である会員が大分市シルバー人材センターという一つのネットワークのもと、いきいきと働く目印です。また、互助会の会員でもある皆さん、積極的に異業種会員との交流の場に参加しましょう。

事故に遭遇しないようにご自身の身体的生活機能の点検を定

期的に行い、安全意識を高めて作業に当たりたいものです。
合掌



草刈部会長
都甲 堅治
(小佐井班)

新年あけましておめでとうございませう。

令和六年も相変わらず忙しい一年でしたが、何とか終わりました。猛暑の続く夏の長く感じる時期に、秋が来ないのではなにか、熱中症にかかるのではなにかと思う程でしたが、何とかお正月がやってきました。

これまで飛石等の事故を挙げてきましたが、キックバック等のヒヤリハット事例について、私なりに感じたことがあります。それは、皆様はよく知っていることと思いますが、刈払機は刈る方向を逆にすると、地面や立ち木等に当たった時にキックバックの恐れがあるので、十分注意が必要です。

また、刈り草を集めるためのレーキの刃を上に向けて置きっぱなしにしたり、刈払機の刃を縦にしたまま置いているのを見

かけますが、大変危険で、大げがのもとです。刃物の刃は上に向けて置かないように注意してください。

今年も事故に十分注意して頑張ります。



福祉・家事援助サービス部会長
河合伊津子
(戸次B班)

設立四十周年の記念行事が無事終わり、次の五十周年にむけて新たな年を迎えました。福祉・家事援助サービス部会もシルバー人材センターの継続した発展を祝い、未来に向かって決意を新たに、会員の皆様とともに頑張りたいと思います。

近年、少子高齢化や核家族化に伴い、一人暮らしの高齢者が増えていきます。体力と認知機能の低下が心配される中、見守りや掃除、食事作り、草取り等清潔な環境づくりに私たちのサポートは重要な役割であり、必要性はより高まっています。

私たち会員同士は、研修会やシルボンヌ委員会つながりを持ち、笑顔と健康で心豊かに楽しく過ごせるよう活動をしてま

いりませう。
積極的なご参加、よろしくお願ひ申し上げます。



福祉・家事援助サービス部会総会



剪定スクール



草刈りの様子



安全・適正
就業委員会 委員長
幸 義広
(田尻C班)

慣れが生む心の油断が

事故の元!

会員の皆様、新年あけましておめでとございます。冒頭の安全標語は、令和六年度大分市シルバー人材センターの会員・職員から応募のありました百十一作品(会員応募八十作品)のなかから優秀賞として選ばれた標語です。本年度の会員標語応募数は昨年度に比べ二十三件増加し、また目標の百件を越え皆様の安全に対する意識の一段の高まりを実感致しています。ありがとうございます。

この標語はこれから一年間様々な事業で活用され、安全就業に活かされることとなります。この他にも、「見る目、気づく目、予知する目、光らせ摘もう危険の芽」や「もうベテラン、おっと危ういその油断」の二作品が佳作に選ばれました。

さて、本年度の事故につきましては十月末時点で既に二十五件の事故が発生しました。事故が起きますと最も辛く苦しいのは

事故当事者の会員です。回復するまで勿論仕事はできませんし、発注者との信頼関係にもヒビが入ってしまうことにもなりかねません。せっかく築いてきた信頼も損なわれることとなります。

全国的にも昨年度は三十六件の重篤事故が発生しその内二十三人が亡くなりました。そのなかで女性三名です。事故は決して他人事ではありません。特にシルバー会員の場合は高齢者による事故として、お仕事中の事故は勿論、冬場の入浴中の事故や夏場の食中毒、熱中症など年間を通して気を付けて頂くことが極めて大切なこととなります。

冒頭の「慣れが生む心の油断が事故の元」の標語をお出かけ前に復唱していただき日々の安全就業のお心がけとしていただきますようお願い致します。

シルバーの就業を通じて皆様方の「生きがいづくり」のためにも事故は一件でも少なく一人でも減らす工夫を「会員皆様の帰属意識の向上」の一環として実践してまいりたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新入会員研修会



地区長及び地域班長連絡会

今年度もこれまで研修会、講習会や入会説明会など様々な活動を行っています。

(写真は一例です)

令和六年 活動報告



シルボンヌ委員会(リース教室)



入会説明会とズンバ教室



筆耕講習会

40 YEARS ANNIVERSARY
**設立40周年
 記念事業**

十一月十二日(火)、ホルトホール大分にて設立四十周年記念事業を執り行いました。

まず、十時からエントランスホールにて八名の会員の皆様による「手作り品展示・即売会」を行いました。

洋服、木工製品・手芸品・小物、バッグ、ミニサボテンなどの出展があり、多くのお客様が買い求めていました。



あわせて、シルボンヌ委員会からも出展し、これまでの活動の成果であるペーパークラフト

を使用したバッグや籠、リースなどを展示するとともに、女性会員の拡大や就業へつなげることとの広報に努めていました。



「手作り品展示・即売会」に続いて十四時から大ホールにて多くの会員の皆様の参加のもと記念式典を開催いたしました。



式典では、まず理事長から式辞があり、当センターのこれまでの経過を紹介し、今後の進むべき方向性を示すとともに、感謝状及び表彰状を贈呈する皆様へお祝いとお礼の言葉を申し述べました。

次に、大分市長 足立信也様から祝辞をいただき、当センターのこれまでの発展への敬意と感謝、また、今後のセンターの果たす重要な役割への期待を述べられました。



引き続き、大分市議会副議長 高橋弘巳様からの祝辞では、少子高齢化、人口減少社会の中でのセンターの役割の重要性や今後のますますの発展を祈念されました。



続いて、これまで多大な貢献をいただきました企業の皆様へ感謝状を、歴代理事長や役員十年以上経験者、在籍二十年以上の会員の皆様へ表彰状を贈呈いたしました。



感謝状、表彰状の贈呈後、受彰者を代表して、在籍二十年以上会員表彰の松原貞子様からの謝辞をもって式典を終了しました。



式典終了後、「お楽しみ抽選会」がご来場の皆様の一喜一憂の中、和気あいあいと執り行われ、一等から五等までの当選者が決定しました。



さらに、抽選会の熱気が冷めやらぬうちに、アトラクションとして、「ディアフレンズ」のコンサートを開催しました。「ディアフレンズ」は、構成メンバーがシルバー世代で、結成以来、コンサート活動や多種多様なイベント出演で数多くの観客動員を誇る音楽バンドです。当日は、「神田川」や「なごり雪」などの来場者がよく知っているフォークソング、ニューミュージックが演奏され、客席と一体となって、盛り上がりっていました。



一八時から、ホテル日航大分オアシスタワーにて、受彰者や関係者による祝賀会を開催いたしました。

趣味の広場

陶芸



岩田 定子さん

ぬり絵



石田三成
(ボールペンによる点描)

長畑 孝典さん

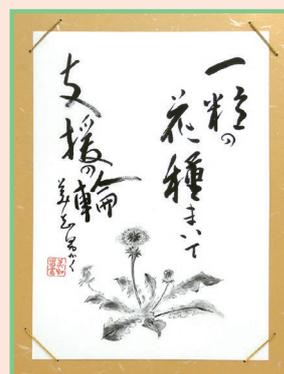
短歌

読み返す古き日記にかへりこぬ
日々を愛しむ一人夜長に
忘れ得ぬ思ひに胸をつまされつつ
名簿より消す逝きし友の名

長畑 孝典さん

俳画

梅田 美知男さん



俳句

生野 義晴さん

独り居をまだもて余す夏座敷
うろたえる隙も与えず青蜥蜴
執念のあるが如きの蟬時雨
妻からの叱責ありぬ昼寝覚
炎昼に気力の失せし警備員
炎帝や生きとし者に容赦なし
焼鳥の店主の額玉の汗
なつかしき父のカメラで夏を撮る
白桃の皮剥く指先濡れている
世の中を俯瞰するごと盆蜻蛉
さくさくと踏めば愛しや夏落ち葉
秋雲のたなびく先の高齢者
秋天を従えている宗麟像
火の国の噴煙はるか芒原
残る蚊のしぶとく生きる功名心
とめどなく情炎さらす曼殊沙華
桜紅葉の立ち去りがたし美術館

事務局通信

◆地区割を変更します◆

当センターでは、センターとの連携強化を推進することにより、円滑なセンター事業の運営体制を築くことを目的に、市域を七つの地区に分け、それをもとに九十九の地域班を設置し、会員の皆様にはそれぞれの地域班に所属していただいております。



しかしながら現在、七つの地区ごとの会員数に不均衡が生じておりますことから、令和七年四月一日から地区に所属する小学校区の見直しをいたします。

3地区から7地区までが大きく変わりますが、「事務局だより」十一月号でお知らせいたしますので、皆様の所属をご確認ください。

なお、地域班については、これまでと変更はありません。

◆会員クラウドサービス 登録展開中◆

令和五年五月に交付された「フリーランス新法」が令和六年十一月一日より施行され、以降の就業については、就業条件の明示が義務化されました。その明示方法として「会員クラウドサービス」を活用することとしており、現在、会員の皆様の登録を進めています。

「会員クラウドサービス」に登録すると、就業条件の明示だけでなく、「事務局からのお知らせ」や「求人情報」、「配分金明細書」が確認できるようになりますので、皆様の積極的な登録をお願いいたします。

なお、スマホをお持ちでない方やスマホでの登録を躊躇している方のため、事務局内にパソコンとプリンターを用意し、「会員クラウドサービス」が利用できるようにしていますので、どうぞ活用ください。



賀 正 互助会会長 あいさつ



互助会会長
小浦 良雄
(中島A班)

互助会では、一昨年の新型コロナウイルス感染症の「五類」移行以来、通常の行事が開催できなくなりました。

今年度は、昨年七月に会員相互の「ふれあい親睦会」、十月に県南佐伯市鶴見へ「研修バス旅行」、十二月末には、恒例の「そば打ち体験会」を実施できました。

また、二月には、「音楽会」を計画しており、年間を通して「健康マージャン教室」も開催していますので、会員の皆様のご参加をお待ちしています。

今後につきましては、会員の皆様の意見も参考にしながら運営してまいりたいと考えていますので、互助会までご連絡ください。楽しく、参加しやすい互助会となるよう、役員一同、一致団結して頑張っております。

編集後記

昨年は、設立四十周年記念事業を無事執り行うことができました。これもひとえに会員の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。

さて、今年はいよいよ「き」の復活と再生の象徴から、新しいことが始まる年です。さらに、十千十二支でいえば乙巳(きのとみ)になり、今までの努力を重ね安定させていく年と言われており、これまで会員の皆様と培ってきたことが、より良い方向に向かう年になると感じております。そして、笑門来福でいつも笑って過ごせる良い一年になるようお願いいたします。今年もどうぞよろしくお願いたします。

(一)

● 会報編集委員

釘宮 祐一・森永 徹
那賀 美保・今石 友美

シルバーだより

道 標 第 25 号

●発行/令和7年1月1日

●発行所/

公益社団法人大分市シルバー人材センター

〒870-0026 大分市金池町3丁目2番3号

TEL 097-538-5575

FAX 097-538-5576

ホームページのご案内

<http://oita.o-sjc.com/>

